

2000年4月
(平成12年)
No. 18

Amizade

～姉妹都市協会ニュース～

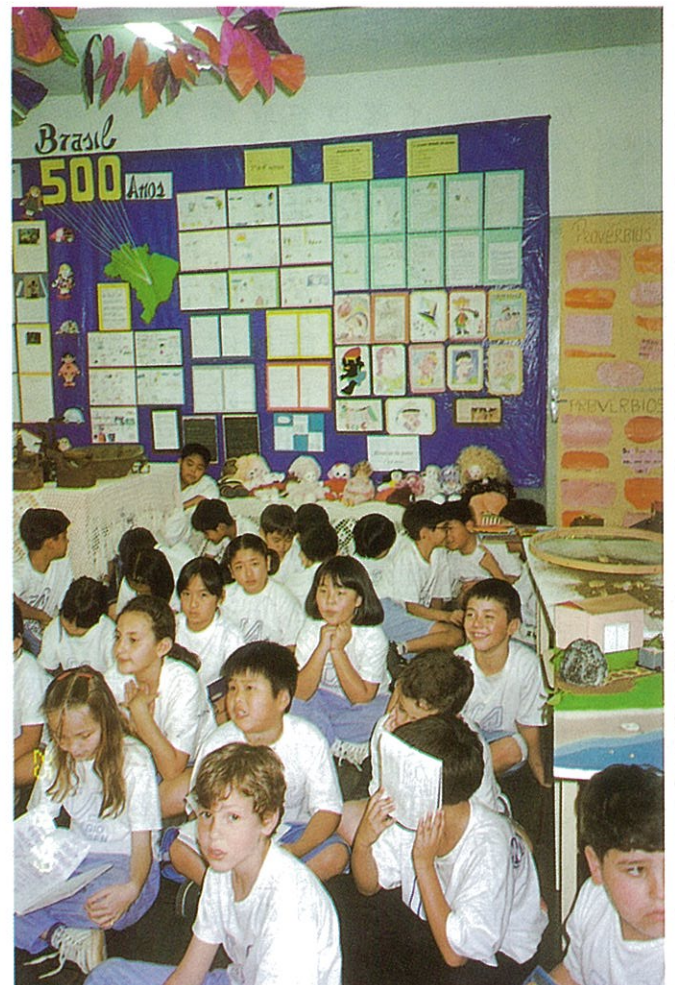
発行 中津川市姉妹都市友好推進協会
岐阜県中津川市かやの木町2-1
中津川市役所 秘書室内
〒508-8501 ☎0573-66-1111

友好20周年

レジストロ訪問団 今年中津川へ



▲たくさんのことを調べたよ!!=坂本小学校で=



▲毎年8月の伝統民芸の月に展示会場に集まった児童たち
=レジストロ市・アンデルセン小学校で=



子供たち 手紙の交流

アンデルセン小学校・坂本小学校

ブラジルから 待ちにまつた贈りもの

坂本小学校では、社会科の勉強の一つとして、ブラジルについて調べ、サンバの踊りやブラジル展を学校で開きました。

ブラジルの子供達に、岐阜県や中津川市のことも教えてあげようということになり、ブラジル・レジストロ市の姉妹都市友好協会会長山村さんに、同市のアンデルセン小学校を紹介していただきました。

一昨年の九月〜十月に、岐阜県について調べ、パンフレットにまとめて船便で贈りました。

そして、昨年十二月末、待ちにまつたアンデルセン小学校の生徒から、手紙や自作のパンフレットなどの作品が届きました。

返事を半分あきらめかけていただけに、生徒達は大変感激したそうです。

「ぜひ返事を出して、今年も交流を続けたい」と、当時四年生を担当していた安藤先生が語って下さいました。

子供達の作品の内容が大変おもしろかったので、次の八人の皆さん(★)の作品をご紹介します。

- ★ジュリオ・ユキオ・オリベイラ ナカザワ
- ★ピアンコ・アウキミン・ウエマ
- ★ジェファソン・マコト・マガリオ
- *レジストロの紹介(共同作品)*
- ◎レジストロ市は、ブラジル国の中で日本人社会の首都である
- ◎海上輸送の唯一の水路は、奥地と海岸地方を結ぶイグアツペのリベイラ川です。
- ◎観光場所は、海外興業株式会社「K・K・K」の建物です。
- 人口：61,781人
- 面積：市街地 78,54km² 郊外地 663,46km² 合計742,00km²
- 海抜：15m
- 気候：暑く、湿気が有る

温度：MAX 38℃ MIN 18℃

生産物：バナナ、紅茶、米、とうもろこし、柿、コーヒー、トマト、さつまいも、なす、レタス、きゅうり、とうがらし、かぼちゃ、えんどう豆

スポーツ：サッカー、バレーボール、ハンドボール、野球、バスケットボール

漫画：一番見ている日本の漫画は、ポケモンです。

▲絵の作品より



レジストロ市周辺のご案内



▲1922年建立の海外興業株の米倉庫 (ジュリアーナちゃん撮影)

★ジュリアーナ・リニ・マエジ 5年生

KKKK(KAIGAI-KOYO-KABUSHIKI-KAISHA)の歴史

日本に本社を持つ海外興業株式会社は、1922年に活動を開始し、レジストロの旧中心街に、3,100m²建坪面積のイギリス建築スタイルの4倉庫を建立し、日系人の農産物出荷のための流通機構の仕事と、附属的な仕事を行いました。

サンパウロ州の文化遺産として知られるこの建物は、1987年に歴史、考古、芸術、観光遺産保護委員会によって、文化のシンボルとする目的で公共に利用されるに値するものであります。

今年はその場で、姉妹都市提携調印二十周年記念式典と、記念事業を計画致しております。レジストロ市長はじめ、各界各層の方々をお招きして、中津川市民の皆さんとともに友好促進を図って参りたいと思っております。

この機会に、姉妹都市提携の原点である「この協定が世界の平和と繁栄に貢献する」と記された両市長の協定書の、崇高な精神を再認識して、さらなる不変の友好関係を促進したいと考えます。市民各界の方々のご理解と姉妹都市友好推進協会会員の方々のご支援をお願い申し上げます。ごあいさつと致します。

るようになりまし。

レジストロ市の名前の起源

当時、リベイラの丘に金が採掘され、イグアツペの港まで川に沿って輸送された。ポルトガル人が、ポルトガル国王に収める税を取るために、輸送される全ての物を登録(ポルトガル語：レジストロ)したところがレジストロの部落でした。いまだに、その部落は、イグアツペにあります。

★ルシアーナ 4年生

オーイー！ 地球の反対側の親友へ

私は日系人です。

私は、貴方達と交流する機会を持ち、本当に嬉しく思います。今、

日本語を勉強しています。もうすぐ、貴方達の手紙を読めるようになると思います。

ありがとうございます。日本の親友へ。

★カシオ 4年生

リベイラ川に洗い流され、谷の間にある、と言われる事で名付けられたレジストロ市はリベイラ川流域にあります。

僕たちは、日本食が好きです。日本の習慣も知っています。

この交流により、僕たちの友情が更に深まり、知識も増えるでしょう。

★ジオバーナ・シルバ・ザネラ

この交流の機会を持つことが

出来て大変幸せです。

私達の市は、姉妹都市の関係にありますが、遠く離れています。私達の習慣は大いに違うと思います。けれども、私達の共通の言葉は友情です。だから、心に喜びを持って生きて行ける友人を持つことです。

キスと抱擁を！(よろしく)

★ユリ

太陽の昇る国の親友へ

僕の曾祖母は、太陽が昇る美しい所で生まれました。

友情についての伝言

友情を育てるこの機会は、なんと良い事だろう！

都市提携調印20周年を迎えて

中津川市姉妹都市友好推進協会長 鈴木 嘉進

一九八〇年昭和五十五年八月五日、ブラジル国レジストロ市と姉妹都市提携調印から今年で満二十年を迎えます。

この間、両市の市長始め市議会、民間人、農業実習高校生との相互交流の実現や、中学生による文通や絵画の交換等、両市民のふれあい交流は連綿と続き、その絆は益々強固なものとなりました。

私も八十三年以降レジストロ市へ四度、友好協会の渡伯団に加わりました。そして多くのレジストロ市民と友好を深めて参りました。この二十年間の友好の足跡を振り返ってみますと、両市民同士の相互理解と親善の成果は多岐にわたり、両

市のかげがえのない財産として、次世代にも受け継がれるに値するものであります。

今年はその場で、姉妹都市提携調印二十周年記念式典と、記念事業を計画致しております。レジストロ市長はじめ、各界各層の方々をお招きして、中津川市民の皆さんとともに友好促進を図って参りたいと思っております。

この機会に、姉妹都市提携の原点である「この協定が世界の平和と繁栄に貢献する」と記された両市長の協定書の、崇高な精神を再認識して、さらなる不変の友好関係を促進したいと考えます。市民各界の方々のご理解と姉妹都市友好推進協会会員の方々のご支援をお願い申し上げます。ごあいさつと致します。

ブラジル岐阜県人会長が来市

山田ブラジル岐阜県人会長が、昨年の十月十八日に市長を表敬訪問され、ブラジル岐阜県人会創立六十周年記念式典参加のお礼を述べ、小林市長、鈴木姉妹都市友好推進協会会長らと歓談されました。



▲左から鈴木会長、山田県人会長、小林市長

私はこの第二十二回農業高校生海外実習派遣事業に参加できて本当に良かったと思っています。派遣生に決まった時は、喜びと不安で一杯でした。他の団員たちとは何の面識もありませんでしたから、一ヶ月間うまくやっていくのか心配でした。他の団員たちと



▲森君撮影の世界三大滝の1つイグアスの滝

岐阜県人会では、山田会長より話を聞きました。移民当初は言葉の違いや、生活習慣の違いには本当に困ったとのことでした。

七月十九日から二十四日までレジストロ市で行ったホームステイでは宿泊先の農場を見学したり、釣りをしたりしてブラジルの生活を実感することができました。宿泊先の家族の方々には、



▲宿泊先の一家に歓迎を受ける森君(左手前から4人目) =レジストロ市で=

海外実習で貴重な体験



平成十一年度第二十二回岐阜県農業高校生海外実習派遣団の一員

初めて会った時は、少しぎこちなかったけれど、事前研修を通じてお互いの良さを知ることができました。

研修を振り返ってみると、七月十三日の夕方、名古屋空港を出発して二十三時間かけて七月十四日にサンパウロに着き、総領事館・ニッケイ新聞社・サンパウロ新聞社・JICA・岐阜県人会へ表敬訪問を行いました。

JICA(国際協力事業団)は、中南米を中心にボランティア活動(赤土)開発、大規模開発等の支援をしている団体で、現在までに大きな成果を上げています。この中で最も印象に残ったのは、ブラジル人が野菜を食べるようになったのは、移民してきた日本人が野菜を作るようになったり、最初は野菜の料理方法を教えながら売っていたという点でした。

大変お世話になり、感謝の気持ちで一杯です。

ブラジルの中西部に位置するクリチバ、イグアス、ロンドリーナ、マリニガの各都市では、県人会の方々が暖かく出迎えて下さり、交流を深めることができました。いろいろな地域で頑張ってみえる農業経営者の方々から貴重な経験談を聞くことができ、本当に良かったと思っております。この時ほど、自分が日本人であることを実感させられたことはありませんでした。

八月五日から十一日までの研修では、アメリカ大規模農業について学習することができました。栽培方法の詳細などを知ることができ、大変有意義であったと思います。

私はこの海外実習に参加して、ブラジル・アメリカの農業について多くのことを学ぶことができました。

友好親善渡辺さん一家

小林市長から感謝状

市内落合の渡辺さん一家。貞子さん(82才)・洋子さん(55才)・淳二さん(52才)は、ブラジルの日系人老人ホーム「憩の園」へ、毎年六月十八日の『日本移民の日』に寄付金を贈り続けて二十一年になります。

渡辺さんはブラジルを訪問した時に、同園が政府に頼らず、自助互助の精神で運営しているのに感動し、寄付を始められました。中津川市とレジストロ市が姉妹提携するなかで、こうした心をつなぐ善行が、ブラジル政府

に認められ、渡辺さんに勲章が贈られています。

姉妹都市提携記念日の、八月五日には、小林市長から感謝状が渡され、貞子さんは「思いもかけぬことで、我が家にとりまして最高の榮譽でございます」と大変喜んでみえました。



※写真は中日新聞社提供

ポルトガル語で歌を披露!!

ブラジルに親しむ会のメンバーら

三月五日、中津公民館まつりに初出演したブラジルに親しむ会のメンバーが、ポルトガル語(ブラジル)で歌を披露しました。

昨年暮から、毎月一回のポルトガル語講座で、「上を向いて歩こう」「ランバダ」など、講座の杉村先生の指導のもとに練習を重ねてきました。



有志の方でランバダの踊りも見せていただきました。写真。



▲リハーサルに打込む皆さん

毎月、楽しく講座を開いています。みなさんも参加してみませんか？

1. 姉妹提携自治体数及び姉妹提携数

(1999年12月1日現在)

区分	姉妹提携自治体数	姉妹提携数
都道府県	39	113
市	422	777
区	19	27
町	348	375
村	71	66
合計	899	1,358

2. 相手国別姉妹提携数 TOP10

順位	国名	提携数
1位	アメリカ合衆国	413
2位	中国	264
3位	オーストラリア	92
4位	韓国	77
5位	カナダ	67
6位	ブラジル	59
7位	フランス	44
8位	ドイツ	39
9位	ロシア	37
10位	ニュージーランド	36

タウンニュース
=自治体姉妹交流速報=より

おいしいと評判なチキン

平成十年(No.16)でお知らせしたブラジル輸入雑貨の店、FR-ENDS(フレンジズ)。川上メロさん・千鶴子さん夫妻が、苗木山の田で経営しています。下呂や多治見からも買いに来るほどおいしいと評判なチキンは、日本人に一番人気があります。また、クリスマスの時期にはとてもたくさん注文が入ります。「ブラジル人は、お肉をよく買いにみえます。」とご主人のメロさん。その他、新聞・雑誌・CD・ビデオ・チョコなどいろいろの物を売っています。



▶多種類のブラジル雑貨

開店時間
平日：夕方6時〜9時
土日祭：朝〜夕方9時

平成12年度 会員募集

中津川市姉妹都市友好推進協会では、たいま会員を募集しています。

- 個人 一口 千円
- 団体 一口 五千元
- 法人 一口 一万円

申込用紙は各地区のコミュニティセンター、市内の金融機関の窓口にて備えてあります。ひとりでも多くの皆さんのご協力をお願いします。

問い合わせ先

中津川市姉妹都市 友好推進協会

(中津川市役所秘書室)
☎(〇五七三)66111
内線三〇四

ポルトガル語を学びませんか

自主サークル「ブラジルに親しむ会」ではポルトガル語の受講生を募集しています。中央公民館で毎月一回、杉村紀彦先生を講師に、ブラジルの文化やポルトガル語を楽しく学んでいます。

問い合わせ先

ブラジルに親しむ会 牛丸朝子
☎(〇五七三)66111